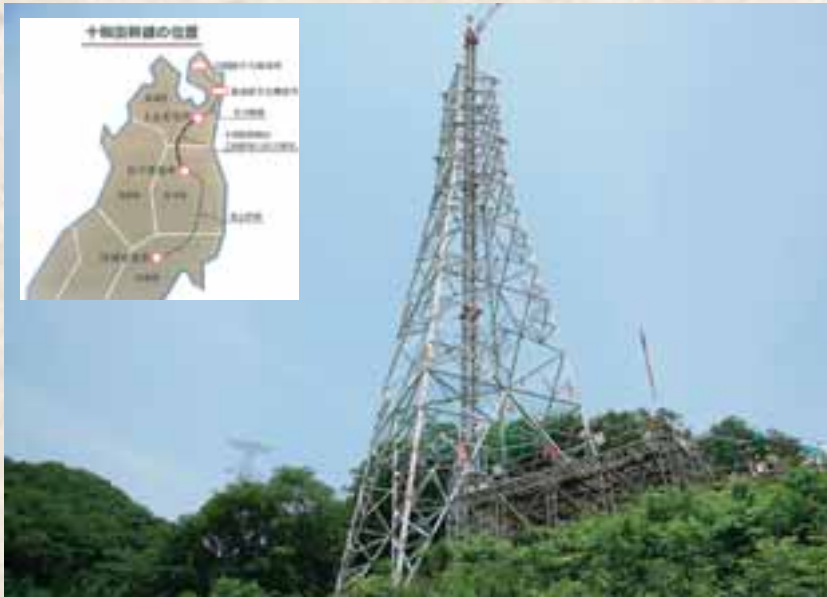


ふるさと
岩手町紀行

通りずむ

第 29 回

通(つう)とは物事をよく知っていること。知る人ぞ知る、岩手町の魅力をお届けしてまいります。



町を貫く「十和田幹線」

浮島地区に輝く巨大な鉄塔群と 人々の生活を陰で支える使命感

「この大動脈は電力の安定供給の大切さを理解してくださる大勢の沿線の皆さんの温かい協力によって支えられています」と、銀色に輝く真新しい鉄塔を見上げるのは東北電力㈱の渡部博道さん。同社は現在、青森県の上北変電所と盛岡市の岩手変電所を結ぶ基幹送電線「十和田幹線」(ことうちばんしよくき)鉄塔数二百六十四基)を建設中で、ルート上の浮島地区でも五基の鉄塔が建設され平成二十二年十月の使用開始を目指して急ピッチで工事が進められています。鉄塔の高さは平均八十二メートルで、最大のもは百二十三メートルに達します。同幹線の規模は接続する「北上幹線」とともに同社最大級。完成後は東北の電力供給の要として活用されます。建設現場を担当する渡部さんは、生活に欠かせない電力の安定供給のため、私たちは常に強い使命感を持って工事に臨んでいます」と、笑顔にしんだ汗をぬぐいます。



東北電力㈱
「十和田幹線」工事担当者

わたなべひろみち
渡部博道さん(37)

「電力供給を通じて地域の皆さまの生活向上のお役に立つことが私たちの使命。今後とも永いお付き合いとご協力をよろしくお願いいたします」と渡部さん



編集後記

町の皆さんこんにちは。いつも快く取材に協力していただきありがとうございます。

さて、この真全町民が待ち望んだ世紀の瞬間がやってきました。ホッケーのまち岩手町の化身とも言うべき日本女子ホッケー小沢みさき選手が、ついに五輪の舞台に立ったのです。また小沢選手の後に続けと一方井中女子が全国制覇。もはや「夢」は夢ではなくなりました。

また今月は、友人形メリーが見つめた町の歴史を特集しました。誰もが未来を信じて自由に夢を抱けること、命を奪われることなく穏やかに毎日を通越せること、今日では当たり前前に思えること、どれも、先人たちが命懸けで遺してくれた尊い財産です。この町のカタチを大切にしたいものです。

(志田)

こちらデスクです



62-2111(内線)216